

## 2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 18日

所属	会計ファイナンス 研究科	職名	教授	氏名	苅米 裕
研究課題	我が国公益法人の非課税論及び寄附金税制と公益信託制度の試論				
研究キーワード	公益法人・一般法人他	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>政府の施策の重点項目を整理した「SDGs アクションプラン 2022」を円滑に遂行するためには、国、民間営利団体、民間非営利団体、個人が一体となって協力することが必要であり、経済・社会・環境の3つのバランスの取れた国民生活体制を構築することが求められる。その実現のためには、公益法人が核となり公益目的事業を複合的に実施することが、目標達成に大きく貢献するものと考えられる。</p> <p>本研究は、SDGsの推進と公益的活動の健全な発展を促進するため、公益法人の運営上の課題に向き合い、公益法人制度と寄附金税制等との連携を再考することにより、政策的な対応措置の実現に向けた検討を行うことを目的とする。</p> <p>なお、「我が国公益法人の非課税論」については、想定していた研究成果に達することができなかった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p><b>【論文（査読なし）】</b></p> <p>論文 苅米裕 共著：非営利法人研究学会 公益・一般法人研究会最終報告 2022年10月 担当 第6章「公益法人に対する寄附金税制に関わる問題の検討ー公益目的事業に用途が特定している支出の損金性ー」125-144頁 2022年</p> <p><b>【学会発表等】</b></p> <p>公益・一般法人における税務問題の実務視点からの研究 非営利法人研究学会第26回全国大会 令和4年10月1日・2日 國學院大學渋谷キャンパス</p> <p>3. 主な経費</p> <p>文献渉猟による書籍代、コピー代、公益・一般法人研究会及び非営利法人研究学会第26回全国大会参加費用その他</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>研究に要した費用は、大きな出費ではないことから、自費で賄うこととしている。</p> <p style="text-align: right;">(本文は2ページ以内にまとめること)</p>					